

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月31日

### 【評価実施概要】

事業所番号	3890200037		
法人名	社会福祉法人 興風会		
事業所名	グループホーム こうふう園		
所在地	今治市大西町紺原甲1 1 6 6-1		
管理者	森川 いく子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	松山市持田町3丁目8-15		
訪問調査日	平成19年6月20日	評価確定日	平成19年11月7日

### 【情報提供票より】 (19年6月1日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 7 月 25 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 15人, 非常勤 2人, 常勤換算	16.3 人

#### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	49,500 円	その他の経費(月額)	13,500 円	
敷金	有 ( ) 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

#### (3) 利用者の概要 (6月1日現在)

利用者人数	17 名	男性	5 名	女性	12 名
要介護1	3 名	要介護2	8 名		
要介護3	6 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.6 歳	最低	72 歳	最高	92 歳

#### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定 あり(なし)	指定認知症対応型通所介護
届出 あり(なし)	短期利用型共同生活介護
加算 あり(なし)	医療連携体制加算

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

のどかな田園地帯の住宅地に開設されたホームである。職員は利用者の楽しみを大事にした支援を心がけ、特に利用者の好む美味しい食事、自由な外出や入浴を支援し、趣味などの楽しみごとが続けられるよう配慮している。そして、利用者と職員は温かい馴染みの関係の中で、時には職員が料理法や茶道等を利用者に教わりながら、日々の生活を送っている。また、ホームは開設して1年足らずではあるが、地域との交流やボランティアの受け入れも活発である。

#### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

初回の評価であるために、前回評価からの経過項目はない。

#### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

初回の評価であるが、職員全員で自己評価を行なうことで、日頃のケアを振り返り、今回の評価を今後の改善に繋がりたいと考えている。

#### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

運営推進会議ではホームの行事、地域との交流、家族会等の活動状況を報告し、それに対する出席者の感想や助言をホームでの支援に役立てている。会議の議題や出席者が固定気味なので、今後ホームの課題の検討の場とする等の多角的な会議の運営を期待する。

#### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の意見はホーム内の「御意見箱」や家族会で把握し、ホームの運営に反映するよう努めている。苦情・相談窓口はホーム内と外部機関に設け、文書に明記すると共に、家族にも説明している。

#### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

ホームは開設1年足らずではあるが、地域との交流は熱心で、活発である。利用者は薬師堂での念仏講や地方祭等に参加するのを楽しみにしている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目  
(評価項目の構成)

## I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

## II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

## III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

## IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

## V.サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

## 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- ※用語について
- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
  - 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
  - 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
  - チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 社会福祉法人 興風会 グループホームこうふう園(ユニット名) 1Fユニット記入者(管理者)  
氏名 森川 いく子評価完了日 平成19年6月1日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 念仏講やクラブ活動を通して、地元の方達と交流している。  (外部評価) ホームの目指すところや地域との関係づくりを明記した理念である。しかし、専門用語、やや抽象的な表現があり、文章が長めで覚えにくい。	※	日々のケアと結びつき易く、覚えやすい、簡潔な理念となるよう、全職員で検討することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 日々の生活活動内での参加により、残存機能を維持し、フォローしている。  (外部評価) 管理者と職員は理念を共有し、理念を意識しながら日々のケアに取り組んでいる。しかし、理念の表現がケアと結びつき難いものもある。	※	理念が日々の取り組みと結びつき易く、身近なものとなるよう、全職員で話し合い、検討することを期待する。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 地元の方々に自由に訪問できる様な雰囲気作りや、挨拶、声掛けをおこなっている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 外出時等には、挨拶等をおこない、又、薬師堂や道路の掃除をおこなっている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 念仏講（1回/月）や地方祭等に参加している。  (外部評価) 利用者は近くの薬師堂の念仏講や地方祭に参加するのを楽しみにしている。お茶会や踊りのボランティアの受け入れ、近所の人々の野菜の差し入れもある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 身体障害者の方が来られ、入所者・職員と会話を楽しまれる。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価)  (外部評価) 初回の評価であるが、職員も一緒に自己評価を行なうことで、日頃のケアを振り返り、外部評価の意義を理解した上で改善に取り組むたいと考えている。		今回、初めての評価であり、今後役立てていきたい。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 行事予定等に対して、協力的助言をいただき、行事に活かしている。  (外部評価) 定期的に運営推進会議を開催し、出席者の意見をサービスの向上に役立てているが、会議の議題や出席者がやや固定化の傾向にある。	※	会議では、ホームの課題への助言を得たり、近所の人々の出席を得て災害時の協力体制の意見を得る等、多角的な会議の運営を期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 介護保険更新時や個人情報請求時、担当職員に問題提議する。  (外部評価) ホームは市役所の支所の職員と連絡をとり、介護保険更新や個人情報保護、ケアの質向上等について相談したり、助言を得ている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) パンフレットで説明している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 利用者同士のトラブルはあるが、日常より注意を払い、行動観察に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 質問の都度、利用者には合ったように合わせて、理解しやすいように具体的に説明している。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 各階に苦情等を受ける為の「御意見箱」を設置している。各居室を訪問したり、家族会では個々に希望・苦情等を聞いている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 月1回家族会を開催し、現状報告を個々におこなっている。  (外部評価) 利用者の暮らしぶりや金銭管理などの報告は毎月の家族会や家族の面会時に行っている。しかし、金銭管理に関することや職員の異動の報告は十分とは言えない。	※	利用者の金銭管理は領収書のほか、利用者毎の出納帳等での管理、報告が信頼関係上からも望まれる。職員の異動時もその都度家族に報告することを期待する。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 各階に苦情等を受ける為の「御意見箱」を設置している。各居室を訪問したり、家族会では個々に意見・不満・苦情等を聞いている。  (外部評価) ホーム内の意見箱及び家族会の意見を運営に反映させるよう努めている。苦情・相談窓口はホーム内と外部機関に設け、家族にも文書で説明している。		
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティング、カンファレンス等により、全職員に対し、意見交換、同じ内容を徹底するようにしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 業務内容や状況により、適宜、調整し対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 少々のダメージに対しても、残った職員達により、フォローしている。  (外部評価) 同法人内の事業所や施設の職員異動の中で運営されているため、職員の異動が多めである。異動時も利用者へのダメージ防止の面では苦慮している。	※	利用者の特性上、職員と馴染みの関係の中での支援が望まれる。この点に配慮し、職員の異動を最小限にする努力を期待する。また、異動職員同士の重複勤務で利用者への影響を抑える等の工夫を望む。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修は、可能な限り参加している。又、施設内では、実際の個別的な介助に対しての勉強会等をおこなっている。  (外部評価) 運営者は職員の育成には学習が大事と考え、ホーム外での研修参加を奨励している。ホーム内でも毎月ユニット合同及びユニット毎の勉強会を持っている。		
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 月1回、近隣施設間での情報交換会に参加している。  (外部評価) 職員は月1回、協力医療機関や関連事業所が集まる情報交換会に参加し、多くの情報を得ているが、地域のホーム同士の交流の機会はない。	※	ホームのサービス、ケアの質向上の面からも、地域のホームとの交流を図り、相互訪問や勉強会等に参加することを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 月1回、全職員を対象に慰労会を開催し、意見交換をおこなっている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 自己評価や面接により、各自を把握し、目標等に合った研修等への参加を促している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 自宅や、利用施設への訪問や面接により、本人の状態や訴え等を把握するようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 自宅や、利用施設への訪問や面接により、本人の状態や訴え等を把握するようにしている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相手が心情を話しやすいように、受け応えし、問題点を見極め、現状から抵抗なくサービス移行できる様に、家族・他施設と協力するように努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 施設生活に抵抗なく移行できるように、在宅サービス（デイ・ショートなど）を利用すること等を説明する。 (外部評価) 利用者が入居前にデイサービス等を利用し、他人と過ごせるよう配慮している。入居後は各利用者に合った声かけをして徐々に馴染んでもらっている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 過去に経験した内容を話したり、自発的に行動できる様な環境・関係作りに努めている。 (外部評価) 職員は利用者の自立に向けた環境、関係づくりに努め、共に楽しく、仲良く暮らしている。料理法、茶道、花活け等を利用者から教わることもある。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日常生活状態を、家族へ伝え、必要に応じて、面会や電話等での対応に協力して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 外出・外泊、面会の規制をおこなっていない。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 昔の同僚や馴染みの方々の面会等、受け入れ、勧めている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 園芸や洗濯物干し・たたみ等を介して、環境作りをおこなっている。		
32		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所者に対して、退所後、数回の訪問・面会をおこなっている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 畑や園芸、縫物、趣味のお茶等が出来るような環境を提供している。  (外部評価) 利用者が食べたい物を献立に取り入れ、希望する時間帯の外出や入浴を支援している。畑作業、縫物、茶道などが楽しめるよう配慮している。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所前より、家族・本人より情報収集をおこなっている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 共に日常生活を過ごすことにより、生活パターンを把握、観察により問題行動・異常の早期発見に努めている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 適宜、カンファレンス開催し、計画変更等をおこなっている。		
			(外部評価) カンファレンスを行い、利用者、家族、職員の思いや意見を反映した介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 定期的な見直しは基より、状態に応じ、適宜、カンファレンスを開催している。		
			(外部評価) 介護計画は3か月毎に見直しているが、利用者の状態が変化した場合はその都度、利用者、家族、職員の意見を入れて見直すことにしている。	※	安定している利用者の場合でも、月に1回程度は新鮮な目で、利用者や家族の意向などを確認し、現状に合った介護計画の見直しを期待する。
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個々の状態記録をおこない、実施状況を把握、見直し等の参考としている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 家族の意向や本人の状態に合ったサービス提供に努めている。		
			(外部評価) ホームは利用者の急な受診や家族の宿泊などにも対応できる柔軟な支援がある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 入所者の趣味であるお茶等は、地域の方に指導に来ていただいている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要な情報提供等により、スムーズに移行できるよう努めている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)		現在、該当者はいないが、必要時には、協力していきたいと考えている。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 定期受診以外にも、往診を受けている。  (外部評価) 利用者が希望するかかりつけ医に受診できるよう支援している。月1回、協力医療機関の医師による往診も行われている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 状態に応じ、受診、内服調整、往診等を受けている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 異変時など、適宜連絡し、指示を受けている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 定期的な面会や、病因関係者から、状態変化を聞き取り、状況把握し、スムーズな受入が出来る様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  (外部評価) 重度化や終末期の対応を行っていく方向で、目下検討中である。		現在、対象者はいないが、今後の課題として、検討する方向である。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)		現在、対象者はいないが、今後の課題として、検討する方向である。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入所前より、情報収集や本人との面会等をおこなうようにしている。又、入所時には、使った慣れた馴染みの私物等の持ち込みも勧めている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個別対応している。  (外部評価) 一人ひとりの誇りやプライバシーを大事にした対応をしているが、利用者や家族の承諾なく、個人記録や居室を外来者に見せようとする場面が見られた。	※	調査員等の外来者に利用者の記録類を見せたり、居室を案内する時は、前もって利用者や家族の承諾を得て行なうことを期待する。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 個々の思いや希望を支援できるよう、日常会話や行動などの様子観察し、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入浴や散歩など、希望にそえる様対応している。 <hr/> (外部評価) 散歩、買物、入浴等、一人ひとりの状態や希望に配慮し、支援している。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 在宅時からの理美容店へ行っている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 自発的に食事の準備、片付けをされているが、職員も見守りや片付けを行っている。 <hr/> (外部評価) 献立は同法人施設の管理栄養士が立てるが、その時々利用者の希望で変更し、ユニット毎にも異なる。利用者と職員は共に調理、食事、片付けをしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 食事内容等は、対応している。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々のパターンに合わせて、声かけや誘導、必要な入所者には介助を行っている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 生活パターンに合わせて、夕食前後に入浴実施している。 <hr/> (外部評価) 利用者は希望する午後の時間や夕食後の入浴を楽しんでいる。一人ひとりの状況に配慮し、同性の職員が入浴の介助をする場合もある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 状態に応じて、居室以外でも対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 定期的な外出や近隣への散歩、日中の家事（食事作り、洗濯、掃除等）各自の合った内応を自発的に行える様に、声かけ、環境作りをしている。 <hr/> (外部評価) 調理、洗濯、掃除、居間の活け花、茶道、薬師堂への散歩、買物等利用者の体験を活かした役割、楽しみごとの支援をしている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 管理できないが、家族に了承を得て所持している。外出の際には、個別で買い物等もしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) ほぼ毎日、入所者の希望や状態に応じて外出している。 <hr/> (外部評価) 出かけたいた時の散歩、菜園の野菜の収穫、欲しい物の買物、遠出での外食等、利用者の希望に添った支援をしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 月2回程度、外食や他施設等へ外出している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 事前に家族の了解を経て、本人の希望により、実施している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 個別の空間を創り、長時間過ごせる様に、している（お茶だし、来客者への椅子等の準備）		
(4)安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 危険の予兆を回避できるように、日常より生活の言動、行動の変化に注意している。 (付き添う歩行や、見守り等が十分に把握できる様に職員の配置をしている)		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) センサーや呼び鈴により対応  (外部評価) 日中は玄関に鍵をかけず、自由な出入りを支援している。利用者の出かける様子を察知して職員が声をかけたり、センサーでの対応もある。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に入所者の所在の確認を行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 日中は、必ず職員が共に行き、夜間は事務所に保管する。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 定期的に、勉強会、カンファ等開き、各自に応じた対応策を実施している。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 新入職員に対しては、緊急時対応の研修を行っている。		心肺蘇生等は、公的機関への依頼を検討している。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 近隣への避難経路の確保し、訓練を行っている。 <hr/> (外部評価) 定期的に災害訓練を行っている。消防署に連絡の上、夜間の災害訓練も行っている。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 入所前には、必ず家族に対し、具体的に説明、入所後は、面会、家族会等で説明している。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 軽度時に病院受診を行っている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 日々変更等あれば、口頭、記録等で伝達している。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 飲食物にて調整し、ほぼ全入所者が、快便である。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、歯磨きや舌の洗浄を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 献立表により管理しているが、入所希望も多く取り入れている。各自の状態により食事内容の変更も行っている。 <hr/> (外部評価) 食事摂取量等はチェックしている。栄養バランスの管理は同法人施設の管理栄養士が行っている。利用者の状態に合った食事形態の支援もしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 協力医療機関の指示、等により実施。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 消毒液や熱湯消毒等行っている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 施設所有地内が、地域の散歩道になっており、地域住民との交流の一環となっている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 植物やソファ等配置し、居心地のよい環境設定を心かけている  (外部評価) 共用空間は明るくゆとりがあり、不快な音や臭いもない。居間は天井に大木の梁、和紙の灯があり、家庭的なソファ、季節の活け花もある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 各自個室対応しており、フロア内では、数箇所、ソファ等の配置をしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 自宅て使い慣れた家具等の持ち込みを勧めている。  (外部評価) 居室の廊下側の窓は障子が入り、落ち着いた雰囲気である。室内は利用者の使い慣れた家具、時計、花瓶、置物等を持ち込み、居心地のよい部屋である。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 適宜、換気等を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 各所に手すりを設置し、車椅子の離合も十分行える広さを確保している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 各レベルに合った、生活支援を行っている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 植樹や、畑作りに取り組んでいる。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	簡単な意向を含めば、掴んでいる。 例：電話したい。外に出たい。畑仕事に行きたい等
89	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	おやつやアクティビティ、散歩時の休息など
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	起床、入浴、就寝等各自のリズムで生活している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出や畑仕事の際は、生き生きして、積極的である。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	施設のみでは、困難な事もあり、家族の協力が必要な場合がある為
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェック、定期的な病院受診等
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全入所者に対して、柔軟に対応しているが、入所者の個別確認は困難である。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族からの相談等あれば、柔軟に対応し、信頼関係の構築に努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	近隣の方が、野菜等持って来られる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 <u>2 少しずつ増えている</u> 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の婦人会等による来園
98	職員は、活き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 <u>2 職員の2/3くらいが</u> 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	月行事等、自発的な参加が多い。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 <u>2 利用者の2/3くらいが</u> 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	各自の希望を全て聴くことができない為
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 <u>2 家族等の2/3くらいが</u> 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族によっては、全て施設まかせな希望があり、施設から病院受診等、協力を依頼する事がある為

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・夜間入浴

・外食やドライブ、観光スポットなどへ出掛けている。(月2回)

一人一人の個性を大切に、自由に主張することが出来る在宅生活の延長としての支援に努めています。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V.サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
**“愛媛県地域密着型サービス評価”**

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- ※用語について
- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
  - 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
  - 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
  - チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 社会福祉法人 興風会 グループホームこうふう園

(ユニット名) 2Fユニット

記入者(管理者)  
氏名 森川 いく子

評価完了日 平成19年6月1日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 念仏講やクラブ活動を通して、地元の方達と交流している。  (外部評価) ホームの目指すところや地域との関係づくりを明記した理念である。しかし、専門用語、やや抽象的な表現があり、文章が長めで覚えにくい。	※	日々のケアと結びつき易く、覚えやすい、簡潔な理念となるよう、全職員で検討することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 日々の生活活動内での参加により、残存機能を維持し、フォローしている。  (外部評価) 管理者と職員は理念を共有し、理念を意識しながら日々のケアに取り組んでいる。しかし、理念の表現がケアと結びつき難いものもある。	※	理念が日々の取り組みと結びつき易く、身近なものとなるよう、全職員で話し合い、検討することを期待する。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 地元の方々に自由に訪問できる様な雰囲気作りや、挨拶、声掛けをおこなっている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 外出時等には、挨拶等をおこない、又、薬師堂や道路の掃除をおこなっている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 念仏講（1回/月）や地方祭等に参加している。  (外部評価) 利用者は近くの薬師堂の念仏講や地方祭に参加するのを楽しみにしている。お茶会や踊りのボランティアの受け入れ、近所の人々の野菜の差し入れもある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 身体障害者の方が来られ、入所者・職員と会話を楽しまれる。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価)  (外部評価) 初回の評価であるが、職員も一緒に自己評価を行なうことで、日頃のケアを振り返り、外部評価の意義を理解した上で改善に取り組むたいと考えている。		今回、初めての評価であり、今後役立てていきたい。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 行事予定等に対して、協力的助言をいただき、行事に活かしている。  (外部評価) 定期的に運営推進会議を開催し、出席者の意見をサービスの向上に役立てているが、会議の議題や出席者がやや固定化の傾向にある。	※	会議では、ホームの課題への助言を得たり、近所の人々の出席を得て災害時の協力体制の意見を得る等、多角的な会議の運営を期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 介護保険更新時や個人情報請求時、担当職員に問題提議する。  (外部評価) ホームは市役所の支所の職員と連絡をとり、介護保険更新や個人情報保護、ケアの質向上等について相談したり、助言を得ている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) パンフレットで説明している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 利用者同士のトラブルはあるが、日常より注意を払い、行動観察に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 質問の都度、利用者には合ったように合わせて、理解しやすいように具体的に説明している。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 各階に苦情等を受ける為の「御意見箱」を設置している。各居室を訪問したり、家族会では個々に希望・苦情等を聞いている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 月1回家族会を開催し、現状報告を個々におこなっている。  (外部評価) 利用者の暮らしぶりや金銭管理などの報告は毎月の家族会や家族の面会時に行っている。しかし、金銭管理に関することや職員の異動の報告は十分とは言えない。	※	利用者の金銭管理は領収書のほか、利用者毎の出納帳等での管理、報告が信頼関係上からも望まれる。職員の異動時もその都度家族に報告することを期待する。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 各階に苦情等を受ける為の「御意見箱」を設置している。各居室を訪問したり、家族会では個々に意見・不満・苦情等を聞いている。  (外部評価) ホーム内の意見箱及び家族会の意見を運営に反映させるよう努めている。苦情・相談窓口はホーム内と外部機関に設け、家族にも文書で説明している。		
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティング、カンファレンス等により、全職員に対し、意見交換、同じ内容を徹底するようにしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 業務内容や状況により、適宜、調整し対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 少々のダメージに対しても、残った職員達により、フォローしている。  (外部評価) 同法人内の事業所や施設の職員異動の中で運営されているため、職員の異動が多めである。異動時も利用者へのダメージ防止の面では苦慮している。	※	利用者の特性上、職員と馴染みの関係の中での支援が望まれる。この点に配慮し、職員の異動を最小限にする努力を期待する。また、異動職員同士の重複勤務で利用者への影響を抑える等の工夫を望む。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修は、可能な限り参加している。又、施設内では、実際の個別的な介助に対しての勉強会等をおこなっている。  (外部評価) 運営者は職員の育成には学習が大事と考え、ホーム外での研修参加を奨励している。ホーム内でも毎月ユニット合同及びユニット毎の勉強会を持っている。		
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 月1回、近隣施設間での情報交換会に参加している。  (外部評価) 職員は月1回、協力医療機関や関連事業所が集まる情報交換会に参加し、多くの情報を得ているが、地域のホーム同士の交流の機会はない。	※	ホームのサービス、ケアの質向上の面からも、地域のホームとの交流を図り、相互訪問や勉強会等に参加することを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 月1回、全職員を対象に慰労会を開催し、意見交換をおこなっている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 自己評価や面接により、各自を把握し、目標等に合った研修等への参加を促している。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 自宅や、利用施設への訪問や面接により、本人の状態や訴え等を把握するようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 自宅や、利用施設への訪問や面接により、本人の状態や訴え等を把握するようにしている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相手が心情を話しやすいように、受け応えし、問題点を見極め、現状から抵抗なくサービス移行できる様に、家族・他施設と協力するように努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 施設生活に抵抗なく移行できるように、在宅サービス（デイ・ショートなど）を利用すること等を説明する。 (外部評価) 利用者が入居前にデイサービス等を利用し、他人と過ごせるよう配慮している。入居後は各利用者に合った声かけをして徐々に馴染んでもらっている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 過去に経験した内容を話したり、自発的に行動できる様な環境・関係作りに努めている。 (外部評価) 職員は利用者の自立に向けた環境、関係づくりに努め、共に楽しく、仲良く暮らしている。料理法、茶道、花活け等を利用者から教わることもある。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日常生活状態を、家族へ伝え、必要に応じて、面会や電話等での対応に協力して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 外出・外泊、面会の規制をおこなっていない。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 昔の同僚や馴染みの方々の面会等、受け入れ、勧めている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 園芸や洗濯物干し・たたみ等を介して、環境作りをおこなっている。		
32		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所者に対して、退所後、数回の訪問・面会をおこなっている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 畑や園芸、縫物、趣味のお茶等が出来るような環境を提供している。  (外部評価) 利用者が食べたい物を献立に取り入れ、希望する時間帯の外出や入浴を支援している。畑作業、縫物、茶道などが楽しめるよう配慮している。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所前より、家族・本人より情報収集をおこなっている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 共に日常生活を過ごすことにより、生活パターンを把握、観察により問題行動・異常の早期発見に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 適宜、カンファレンス開催し、計画変更等をおこなっている。		
			(外部評価) カンファレンスを行い、利用者、家族、職員の思いや意見を反映した介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 定期的な見直しは基より、状態に応じ、適宜、カンファレンスを開催している。		
			(外部評価) 介護計画は3か月毎に見直しているが、利用者の状態が変化した場合はその都度、利用者、家族、職員の意見を入れて見直すことにしている。	※	安定している利用者の場合でも、月に1回程度は新鮮な目で、利用者や家族の意向などを確認し、現状に合った介護計画の見直しを期待する。
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個々の状態記録をおこない、実施状況を把握、見直し等の参考としている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 家族の意向や本人の状態に合ったサービス提供に努めている。		
			(外部評価) ホームは利用者の急な受診や家族の宿泊などにも対応できる柔軟な支援がある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 入所者の趣味であるお茶等は、地域の方に指導に来ていただいている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要な情報提供等により、スムーズに移行できるよう努めている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)		現在、該当者はいないが、必要時には、協力していきたいと考えている。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 定期受診以外にも、往診を受けている。  (外部評価) 利用者が希望するかかりつけ医に受診できるよう支援している。月1回、協力医療機関の医師による往診も行われている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 状態に応じ、受診、内服調整、往診等を受けている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 異変時など、適宜連絡し、指示を受けている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 定期的な面会や、病因関係者から、状態変化を聞き取り、状況把握し、スムーズな受入が出来る様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  (外部評価) 重度化や終末期の対応を行っていく方向で、目下検討中である。		現在、対象者はいないが、今後の課題として、検討する方向である。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)		現在、対象者はいないが、今後の課題として、検討する方向である。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入所前より、情報収集や本人との面会等をおこなうようにしている。又、入所時には、使った慣れた馴染みの私物等の持ち込みも勧めている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個別対応している。  (外部評価) 一人ひとりの誇りやプライバシーを大事にした対応をしているが、利用者や家族の承諾なく、個人記録や居室を外来者に見せようとする場面が見られた。	※	調査員等の外来者に利用者の記録類を見せたり、居室を案内する時は、前もって利用者や家族の承諾を得て行なうことを期待する。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 個々の思いや希望を支援できるよう、日常会話や行動などの様子観察し、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入浴や散歩など、希望にそえる様対応している。  (外部評価) 散歩、買物、入浴等、一人ひとりの状態や希望に配慮し、支援している。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 在宅時からの理美容店へ行っている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 自発的に食事の準備、片付けをされているが、職員も見守りや片付けを行っている。  (外部評価) 献立は同法人施設の管理栄養士が立てるが、その時々利用者の希望で変更し、ユニット毎にも異なる。利用者と職員は共に調理、食事、片付けをしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 食事内容等は、対応している。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々のパターンに合わせて、声かけや誘導、必要な入所者には介助を行っている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 生活パターンに合わせて、夕食前後に入浴実施している。  (外部評価) 利用者は希望する午後の時間や夕食後の入浴を楽しんでいる。一人ひとりの状況に配慮し、同性の職員が入浴の介助をする場合もある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 状態に応じて、居室以外でも対応している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 定期的な外出や近隣への散歩、日中の家事（食事作り、洗濯、掃除等）各自の合った内応を自発的に行える様に、声かけ、環境作りをしている。 (外部評価) 調理、洗濯、掃除、居間の活け花、茶道、薬師堂への散歩、買物等利用者の体験を活かした役割、楽しみごとの支援をしている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 管理できないが、家族に了承を得て所持している。外出の際には、個別で買い物等もしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) ほぼ毎日、入所者の希望や状態に応じて外出している。 (外部評価) 出かけたいた時の散歩、菜園の野菜の収穫、欲しい物の買物、遠出での外食等、利用者の希望に添った支援をしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 月2回程度、外食や他施設等へ外出している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 事前に家族の了解を経て、本人の希望により、実施している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 個別の空間を創り、長時間過ごせる様に、している（お茶だし、来客者への椅子等の準備）		
(4)安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 危険の予兆を回避できるように、日常より生活の言動、行動の変化に注意している。 (付き添う歩行や、見守り等が十分に把握できる様に職員の配置をしている)		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) センサーや呼び鈴により対応  (外部評価) 日中は玄関に鍵をかけず、自由な出入りを支援している。利用者の出かける様子を察知して職員が声をかけたり、センサーでの対応もある。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に入所者の所在の確認を行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 日中は、必ず職員が共に行き、夜間は事務所に保管する。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 定期的に、勉強会、カンファ等開き、各自に応じた対応策を実施している。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 新入職員に対しては、緊急時対応の研修を行っている。		心肺蘇生等は、公的機関への依頼を検討している。




自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 近隣への避難経路の確保し、訓練を行っている。 <hr/> (外部評価) 定期的に災害訓練を行っている。消防署に連絡の上、夜間の災害訓練も行っている。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 入所前には、必ず家族に対し、具体的に説明、入所後は、面会、家族会等で説明している。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 軽度時に病院受診を行っている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 日々変更等あれば、口頭、記録等で伝達している。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 飲食物にて調整し、ほぼ全入所者が、快便である。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、歯磨きや舌の洗浄を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 献立表により管理しているが、入所希望も多く取り入れている。各自の状態により食事内容の変更も行っている。 <hr/> (外部評価) 食事摂取量等はチェックしている。栄養バランスの管理は同法人施設の管理栄養士が行っている。利用者の状態に合った食事形態の支援もしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 協力医療機関の指示、等により実施。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 消毒液や熱湯消毒等行っている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 施設所有地内が、地域の散歩道になっており、地域住民との交流の一環となっている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 植物やソファ等配置し、居心地のよい環境設定を心かけている  (外部評価) 共用空間は明るくゆとりがあり、不快な音や臭いもない。居間は天井に大木の梁、和紙の灯があり、家庭的なソファ、季節の活け花もある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 各自個室対応しており、フロア内では、数箇所、ソファ等の配置をしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 自宅て使い慣れた家具等の持ち込みを勧めている。  (外部評価) 居室の廊下側の窓は障子が入り、落ち着いた雰囲気である。室内は利用者の使い慣れた家具、時計、花瓶、置物等を持ち込み、居心地のよい部屋である。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 適宜、換気等を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 各所に手すりを設置し、車椅子の離合も十分行える広さを確保している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 各レベルに合った、生活支援を行っている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 植樹や、畑作りに取り組んでいる。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	簡単な意向を含めば、掴んでいる。 例：電話したい。外に出たい。畑仕事に行きたい等
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	おやつや時間やアクティビティ、散歩時の休息など
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	起床、入浴、就寝等各自のリズムで生活している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出や畑仕事の際は、生き生きして、積極的である。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	施設のみでは、困難な事もあり、家族の協力が必要な場合がある為
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェック、定期的な病院受診等
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全入所者に対して、柔軟に対応しているが、入所者の個別確認は困難である。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族からの相談等あれば、柔軟に対応し、信頼関係の構築に努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	近隣の方が、野菜等持って来られる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 <u>2 少しずつ増えている</u> 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の婦人会等による来園
98	職員は、活き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 <u>2 職員の2/3くらいが</u> 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	月行事等、自発的な参加が多い。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 <u>2 利用者の2/3くらいが</u> 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	各自の希望を全て聴くことができない為
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 <u>2 家族等の2/3くらいが</u> 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族によっては、全て施設まかせな希望があり、施設から病院受診等、協力を依頼する事がある為

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・夜間入浴

・外食やドライブ、観光スポットなどへ出掛けている。(月2回)

一人一人の個性を大切に、自由に主張することが出来る在宅生活の延長としての支援に努めています。